

レキオ・パワー・テクノロジー株式会社

沖縄県那覇市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

途上国向けのジェネリック医療機器の開発 で、アフリカの医療を変える

- 医療ニーズを掴み医療器機認証を取得。アフリカ各地への展開を進める
- 途上国向けに開発された低価格帯の超音波診画像診断装置の開発に成功
- 医療分野における沖縄の知見集積と企業連携で海外展開に挑む

企業基本情報

所在地	沖縄県那覇市西 1-20-13 たまきビル 3F
電話/FAX	098-868-9500/098-868-9500
URL	http://www.lequiopower.com/ja
代表者	代表取締役 河村 哲
設立	2011年
資本金	1,550万円
従業員数	6人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

沖縄を拠点に2011年に設立された同社は、途上国の価格帯・使用環境に適合させた超音波画像診断装置の開発を手掛ける。内戦等の影響により医療インフラサービスが不十分な状態にあるスーダン共和国における医療プロジェクトに参加したことをきっかけに、途上国でも購入可能な低価格帯のジェネリック医療機器の開発に着手。現在は、アフリカ地域を中心に事業展開している。



会社イメージ

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 医療ニーズを掴みアフリカ各地で展開

超音波診画像診断装置は、日本国内では主に妊産婦健診、腹部検査に用いられているが、途上国においては非常に高価（数百万円～）であることが障壁となり、同装置が普及していない。現地でニーズがあるにもかかわらず普及が進んでいないこのような医療機器を途上国仕様にして低価格帯（従来価格の1/10）で販売する。

2015年にスーダンにおける医療機器認証を取得し、スーダンの総代理店開設を皮切りに、2016年2月にはケニア共和国にも総代理店開設、同年3月に同装置をケニア向けに50台を初出荷するなど、アフリカ各国への展開も進めている。

現在はJICA 中小企業海外展開支援事業「超音波画像診断装置を活用した母子保健の向上に関する普及・実証事業」をスーダンにて実施中であり、同社製品を使用した助産師への研修による妊産婦健診の実施が現地に定着することが期待されている。



製品外観



助産師へのエコー研修修了式

▶▶▶ メディカルエンジニアを必要としない製品保守体制の構築

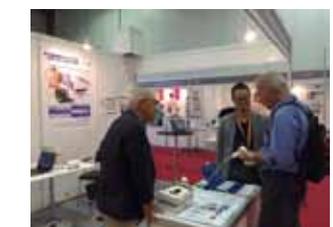
製品本体は軽量の超音波探知する探触子（プローブ）のみであるため、破損・故障の場合には小口配送網による製品交換で対応し、専属のメディカルエンジニア等の技術者を必要としない保守体制を構築。途上国市場においても容易に保守サービスの提供が可能となるよう製品設計が工夫されている。



ケニア大統領夫人の妊産婦死亡率低減PJに参加

▶▶▶ 医療分野における沖縄の知見集積と企業連携で海外展開に挑む

JICA 中小企業海外展開支援事業を活用したスーダンでの展開においては、他の沖縄県内企業（医療・IT・ハードウェア分野）との連携、沖縄県の母子保健分野における知見を活かした事業を実施しており、地域資源を活用した地域経済活性化に貢献する事業を展開している。



シンガポールの展示会に出展